

ベラルーシ公開情報とりまとめ

(5月6日～5月12日)

2024年5月27日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- 核兵器運用にかかる軍の点検に関するルカシェンコ大統領の発言(5月7日)
- 戦術核兵器運搬手段の抜き打ち点検の実施(5月7日)
- ベラルーシ国内に核兵器保管庫が整備された可能性(5月11日)

【ルカシェンコ大統領動静】

●核兵器運用にかかる軍の点検に関するルカシェンコ大統領の発言

ルカシェンコ大統領は、ミンスクで開催された対独戦勝記念の祝賀式典での演説において、以下のとおり発言。

- ・ベラルーシ・ロシア両国軍参謀本部により、今回初めて、非戦略核兵器の使用にかかる事項の演練が計画されている。
 - ・本点検を通じ、特殊弾薬のミサイル部隊及び航空戦闘部隊への引渡し、同弾薬の発射装置への搭載及び航空機への懸架が行われる。
 - ・5月8日、ベラルーシ・ロシア両国首脳は、特殊弾薬を装備した部隊の両国共同での調整及び実動にかかる決定に関してモスクワで協議し、最終的な決定を下す。
 - ・本点検は、ただただ防衛的な性質のもの。ベラルーシの核兵器は、抑止のための兵器、防衛のための兵器であり、何者もこのような兵器を保有する者に侵攻したりはしない。
 - ・フランスがウクライナに派兵したり、ポーランド政府等がこれまで述べてきたことを実行したりすることがないよう、我々は強くなければならない。
- (5月7日 大統領府)

●対独戦勝記念日

- ・ルカシェンコ大統領は、国民宛に祝辞を発出し、ナチスドイツに対するベラルーシ人の抵抗と戦没者の記憶を称えとともに、退役軍人らの健康を祈念。
- ・また、ロシア、アゼルバイジャン、アルメニア、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ウ

ズベキスタンの各国の首脳及びジョージア、モルドバ、ウクライナの国民宛てに祝辞を発出。

- ・ロシア、アゼルバイジャン、タジキスタン、キルギス、ウズベキスタン、トルクメニスタン、パキスタン、ベネズエラの各国首脳らが、ルカシェンコ大統領及びベラルーシ国民宛に祝辞を発出。
 - ・対独戦勝記念祝賀式典の開催。ルカシェンコ大統領は、戦勝記念碑に献花。政府機関関係者、議員、公共団体の関係者、ロシア、キルギス、アルメニア、トルコ等各国の大使ら、退役軍人らが参列。
- (5月9日 大統領府)

【外交】

●ベラルーシ・サウジアラビア第3回会合(5月7日～9日)

- ・ベラルーシ側からは、シェスタコフ外務次官をはじめ、農業食糧省、運輸・交通省の代表らが出席。両国の相互の関心分野における協力の展望につき協議。
- (5月8日 外務省)

【内政】

●2020年以降、ベラルーシでは少なくとも1,622のNPOが閉鎖

(5月7日 人権団体「Lawtrend」)

●5月10日現在の政治犯の数は1,374人

(5月10日 人権団体「ヴァスナ(春)」)

【軍事・安全保障】

●戦術核兵器運搬手段の抜き打ち点検の実施

国防省は、ルカシェンコ大統領が戦術核兵器の運搬

手段の抜き打ち点検実施を指示した旨発表したところ、概要以下のとおり。

・フレニン国防大臣は、本点検に地対地ミサイルシステム「イスカンデル」大隊及び Su-25 攻撃機大隊が関与すること、戦術核兵器による攻撃の計画から準備、実施にかかる事項全てが点検されることにつき述べた。

・グレヴィチ軍参謀総長兼国防第一次官は、本点検のために関連部隊の兵力と航空機の一部が呼びの航空基地に移動している旨述べた。

(5月7日 国防省)

●戦術核兵器の演習にベラルーシ軍も参加

5月9日にモスクワで行われたロシアの対独戦勝記念軍事パレードの後、ルカシェンコ大統領とプーチン露大統領が記者団からの質問に答えたところ、概要以下のとおり。

・プーチン露大統領によれば、5月8日から9日の未明までルカシェンコ大統領と首脳会談を行い、ウクライナでの戦況も含めて協議。

・プーチン露大統領は、非戦略核兵器の運搬手段が参加する演習に、ベラルーシ軍も合流するよう提案した旨述べ、ルカシェンコ大統領も、前日の両国首脳会談で両首脳がこれを決定した旨付言。

(5月9日 大統領府)

●ベラルーシ国内に核兵器保管庫が整備された可能性

・5月10日、米ニューヨークタイムズ紙は、米国企業「マクサ・テクノロジーズ (Maxar Technologies)」の衛星画像に基づき、モギリョフ州西部オシポヴィチ近郊において進行中の保管庫の整備作業につき分析。

・同保管庫の整備作業は2023年3月から始まっており、ロシア軍の核兵器保管庫に特有の特徴が認められる。

・米国科学者連盟 (FAS) のハンス・クリステンセン研究員は当該施設に関し、北大西洋条約機構 (NATO) 東端の加盟国をいらだたせるものの、地域において新しくかつ顕著な軍事的地位をロシアにもたらすものではないと分析。

(5月11日 「ゼルカロ (鏡)」)

●ベラルーシから欧州への不法越境の試み

(5月6日～5月12日)

・リトアニア国境警備局は少なくとも6人を阻止。

・ラトビア国境警備隊は少なくとも72人を阻止。

・ポーランド国境警備隊は少なくとも1909人を阻止。

(5月7日～5月13日 ポジルク)

●国境付近での外国人の死亡

・国家国境委員会は、5月3日及び5日に、それぞれラトビア、ポーランドとの国境付近で計3人の遺体が確認されたと発表。

・国家国境委員会によれば、2021年以来、合計52人の外国人の遺体が欧州との国境付近で確認されている。

(5月7日 国家国境委員会、「ゼルカロ (鏡)」)

【治安・犯罪】

●ロマン・プロタセヴィチ氏ら「NEXTA」関係者に対する裁判

・裁判所は、プロタセヴィチ氏他、独立系メディア「NEXTA」の関係者ら2名に向け、計2,455万9,261ルーブル (約769万ドル相当) の支払いを命じた。

・プロタセヴィチ氏は、2021年のライアンエア機強制着陸事件で拘束され、8年の自由剥奪刑を宣告されていたが、2023年5月22日に恩赦の決定が下された。

(5月7日 「ゼルカロ (鏡)」)

【抗議勢力の動き】

●チハノフスカヤ民主勢力代表の動向

・5月7日、ストルテンベルグ北大西洋条約機構 (NATO) 事務総長と初めて会談。

・9日、対独戦勝記念日に寄せて、ベラルーシ人国民に向け、「ロシアがウクライナに仕掛けた戦争は、80年前の出来事から教訓を学んでいないことを示している。ベラルーシは再び圧政の支配下にある。平和を重んじるベラルーシで、戦争反対！という言葉が罪になるとは」「ベラルーシ人は決して侵略者ではない」と訴

えた。

(5月9日 チハノフスカヤ氏公式サイト)

【その他】

●欧州連合(EU)は、ベラルーシ及びロシアからのペット輸入に関する制限を強化

・2024年9月以降、犬、猫、フェレットの輸入には狂犬病抗体検査の結果の提示が必須となる。

(4月26日 欧州委員会、5月10日 ポジルク)

(了)